

平成 30 年 9 月
第 6 回清水町議会定例会一般質問事項

質 問 者	質 問 事 項	
議 席 氏 名		
2	桜井崇裕	<p>1 森林環境譲与税の対応と今後の取り組みについて</p> <p>森林経営管理法の成立を受け、平成 31 年度から森林環境譲与税の譲与が始まり、森林の管理は所有者の責務となる。これができない場合は自治体に管理を委ねることとなる。</p> <p>このことから、町の考え方と今後の取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 新たな森林経営管理制度（森林管理システム）とはどのような制度なのか。</p> <p>(2) 所有者に責務が強化されたことをどのように周知し、意向を調査していくのか。</p> <p>(3) 未確定な部分はあるが、本町の配分額はどのくらいになるか試算しているのか。</p> <p>(4) 今後どのような手順で進められるのか。</p> <p>(5) 森林組合の役割は何か。</p>

質 議	問 席	者 氏	事 名	項
7	原	紀夫	1	<p>森林経営管理法による本町の私有林管理について</p> <p>国内の森林は、戦後や高度経済成長期に植栽された人工林が大きく育ち、木材として利用可能な時期を迎えようとしている。利用可能な森林が増える中、国内で生産される木材も増加し、木材自給率も上昇を続け、平成28年度には過去30年間で最高水準となる34.8%となるなど、国内の森林資源は「伐って、使って、植える」という森林を循環的に利用していく新たな時代に入ったと言われている。</p> <p>一方、我が国の森林の所有は小規模・分散的で、長期的な林業の低迷や森林所有者の世代交代等により森林所有者の森林への関心が薄れ、森林の管理が適切に行われず、伐採した後に植林がされないという事態が発生している。83%の市町村が、管内の私有林の手入れが不足していると考えている状況であり、森林の適切な経営管理が行われないと、災害防止や地球温暖化防止など森林の公益的機能の維持管理にも支障が生じることとなる。</p> <p>このような中、適切な経営管理が行われていない森林を、意欲と能力のある林業経営者に集積・集約するとともに、それができない森林の経営管理を市町村が行うことで、森林の経営管理を確保し、林業の成長産業化と森林の適切な管理の両立を図ることとして、森林経営管理法が本年度成立し、来年4月に施行されることとなった。</p> <p>以下、本町の私有林の現状について伺う。</p> <p>(1) 本町は2年前の予期せぬ大災害で、大径木が根こそぎ全木で倒壊流失し家屋までもが流される災害を目にして、町民の意識にも森林保全の重要性は再認識されていると思うが、防災対策上からも着実に本管理法は進めなければならないと考えるが、町の見解を伺う。</p> <p>(2) 本町の森林面積は、18,000ヘクタール弱で、うち、国有林が11,000ヘクタール弱、町有林2,000ヘクタール、私有林4,900ヘクタール弱であるが、私有林で所有者不明などの理由で伐採や植林が適切に出来ない面積を把握しているのか。町と森林組合等との協議は行われているのか伺う。</p>

質 議	問 席	者 氏	質 問 事 項
		<p>(3) 耕地防風林は風害から耕地を保護する機能を持つなど多くの働きをしているが、近年、地球規模での異変も数多く見られるようになってきている。防風保安林は森林法で伐採等が規制されているが、規制外の防風林は減少している状況にあると考える。減少させない策が必要と考えるが町の考えを伺う。</p> <p>2 役場本庁舎内各課配置の見直しによる業務の効率的運営について</p> <p>町民サービスを向上させ、業務の効果的な組織運営を図るため、少子化、高齢化が進む中、将来展望を見据えて本年度から進んでいる文化センター改修を機会に各課の配置について見直しを図るべきと考えるがいかがか。</p> <p>以下4点について伺う。</p> <p>(1) 本庁舎内に教育委員会を配置し、保健福祉課以外の全課を配置して、学校教育課、社会教育課、子育て支援課の連携を密にする配置とする。</p> <p>(2) 企画課に財政係を統合して企画財政課とし、事務の効率化を図る。</p> <p>(3) 移住、少子化対策及び町内会担当などの専門職的職員を配置して専任化を図る。</p> <p>(4) これらのことについて職員間の意思疎通を図る上からも、職員意見を聴取尊重して対策を講じる。</p>	

質 議	問 席	者 氏	事 項
3	北村光明	<p data-bbox="555 255 1037 297">1 ふるさと納税制度について</p> <p data-bbox="555 353 1418 488">人口減少時代を迎え、各自治体の自主財源の確保が大事な課題となっている。本町のふるさと納税についての現状と今後の取り組みについて伺う。</p> <p data-bbox="584 544 1278 586">(1) これまでの取組状況と寄付金の推移について伺う。</p> <p data-bbox="584 642 1278 685">(2) 道内市町村と比較して特徴的な取り組みはあるか。</p> <p data-bbox="584 741 1418 831">(3) 今後の取り組みとして、国の地方創生事業との連携はあるか。</p> <p data-bbox="555 931 1353 974">2 社会教育施設の活用と町民活動の促進について</p> <p data-bbox="555 1030 1418 1209">公共施設等の再編や総合管理が課題となっている。建物やハードの管理の議論になりがちであるが、本来の社会教育の趣旨に基づく町民自身の学びと活動が重要であると考え。その目的において教育委員会の存在は重要である。</p> <p data-bbox="584 1265 1418 1355">(1) 本町における図書館や公民館活動についての現状及び今後について、再度所感を伺う。</p> <p data-bbox="584 1411 1418 1545">(2) 町民の健康や日々の生活を重視すれば、町民が自主的な活動ができるよう継続的な援助ができる専門的な社会教育主事や学芸員の配置が必要と考えるがいかがか。</p> <p data-bbox="584 1601 1418 1691">(3) 文化センターの大ホール活用を企画できる「町民劇場」的活動と組織が必要と考えるが、それに関する見解はあるか。</p>	

質 議	問 席	者 氏	質 問 事 項
		<p data-bbox="555 255 1177 293">3 日高山脈の国立公園化指定について</p> <p data-bbox="555 353 1407 533">北海道の背骨と表現される日高山脈は現在「日高山脈襟裳国立公園」となっている。日高山脈の国立公園化の話が持ち上がっており、本町及び関係自治体と連携した運動が必要と考えるが、取り組みの現状について伺う。</p> <p data-bbox="584 595 1407 680">(1) 雄大な自然環境の保護の取り組みや観光資源の施設や景観維持のための事業にはどのようなものがあるか。</p> <p data-bbox="584 743 1407 873">(2) 日高山脈の景観は十勝側から見たほうが雄大である。それにちなむ公園名称やサブネーム（例えば、十勝アルプスなど）は考えられないか。</p> <p data-bbox="555 981 1177 1019">4 本町における障がい者雇用について</p> <p data-bbox="555 1081 1388 1167">国の中央官庁における障がい者雇用の水増し報道があったが、本町の障がい者雇用の状況と今後の取り組みについて伺う。</p>	

質 議	問 席	者 名	質 問 事 項
5	佐藤幸一	<p data-bbox="555 255 1321 297">1 高齢者ドライバーの交通事故減少の取り組み</p> <p data-bbox="555 353 1410 439">高齢者ドライバーによる交通事故が多発しており、最近では運転免許証を自主返納する人が増えてきている。</p> <p data-bbox="576 450 1267 488">本町の高齢者の運転免許証自主返納等に関して伺う。</p> <p data-bbox="580 546 1193 584">(1) 運転免許証の自主返納の現状について伺う。</p> <p data-bbox="580 642 1342 680">(2) 高齢者ドライバーの安全運転の取り組みについて伺う。</p>	

質 議 席	問 者 氏 名	質 問 事 項
10	奥 秋 康 子	<p>1 市街地活性化について</p> <p>駅前を中心とした市街地の活性化について質問する。</p> <p>駅前を中心とした一帯は長い歴史の中で、各種機能を持つ地域の顔であった。</p> <p>近年は郊外型の大型商業施設やライフスタイルの変化、商店経営者の高齢化などにより空き店舗の発生や居住人口の減少など中心市街地の空洞化が進行し、まちの主体性喪失の危機に直面していると考えている。相当以前から中心商店街の活性化、更に駅周辺整備の課題としてたびたび議論が交わされてきたが解決策がなく、シャッターが降ろされたままの店が増え続けているのが実態である。</p> <p>国は、効果が見込まれる地域を重点的に支援するという中心市街地活性化法の改正を平成18年に行った。これは比較的人口規模の小さな自治体でも取り組みやすい内容になっていると理解している。</p> <p>本町を取り巻く現状と今後の市街地活性化について伺う。</p> <p>(1) 廃業による空き店舗は増加しているが、10年前の店舗数と現在の店舗数は。</p> <p>(2) 本町の中心市街地機能は周辺へと拡大した。行政として将来どのようなまちづくりをして既存の商業者・商店街を守り、発展させるのか伺う。</p> <p>(3) JRは上下線合わせ12便の特急が停車している。駅前などは小売店舗、旧旅館等の閉店が相次いでいるが、空き店舗の利用などは進んでおらず、撤退後の空き地や建物等がそのまま放置されているものもある。駅前周辺地域の発展を図る上で整備が必要と考えるがいかがか。</p> <p>(4) 中心市街地の賑わいには、子どもや若者が集まる拠点が必要ではないか。空き店舗を利用したコミュニティスペースを作り、学生や子どもが気軽に出入りができ、誰もが気軽に立ち寄れる空間や、今、若者に人気のあるボルダリングジムを開設してはいかがか。</p> <p>(5) 町は早急に中心市街地活性化基本計画の作成に取り組むべきと考えるがいかがか。</p>

質 議	問 席	者 氏	事 問	項 事
11	安田	薫	<p>1 乳幼児健診で「網膜芽細胞腫」の早期発見を</p> <p>小児がんの一つに「網膜芽細胞腫」という眼のがんがある。患者の95%は5歳までに発見されているが、発見が遅れるとがんが脳に転移して死に至る。発症は1.5～1.6万人に1人と少なく、親が赤ちゃんの眼の異常に気付いても速やかに治療されないことがある。</p> <p>早期発見であれば抗がん剤治療等によって眼球摘出を免れる場合がある。網膜芽細胞腫はある程度進行すると「白色瞳孔」や「斜視」の病状が現れる。これらを乳幼児健診でチェックできれば早期発見につなげることができる。これまで本町で発症例があるのか伺う。</p> <p>乳幼児健診の項目は市町村が指定することができる。本町の間診の「眼」の項目に「白色瞳孔」を追加してはどうか。</p>	

質 議	問 者	質 問 事 項
席	氏 名	
9	中 島 里 司	<p>1 町道の危険箇所の改修を</p> <p>交通安全についてはいろいろな視点から関係機関が連携を取り、事故を減らそうとしていることは承知しているが、新羽帯常盤間道路の御影川に架かる常盤橋の取付道路は幅員が狭くなっており、非常に危険である。</p> <p>国営畑総事業御影地区で御影川を改修する際に、正規に改修されることになっていたが、その周辺の河川用地が確保できず現在に至っている。</p> <p>すでに国営畑総事業は終了しており、町道の整備事業として取り組まなければならないが、次の点について伺う。</p> <p>(1) 常盤橋付近での事故件数は。</p> <p>(2) 今まで河川管理者である北海道と協議したことはあるか。</p> <p>(3) 問題提起により、今後どのように取り組むべきと考えるか。</p>